

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、半期毎に清須市商工会が行う中小企業景況調査から、同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

令和7年10月から令和8年3月の上半期を対象とし、調査時点は令和8年7月31日。

(2) 調査対象企業

清須市商工会地区内71企業。

内訳は、製造業10企業、建設業16企業、卸小売業14企業、飲食業15企業、サービス業16企業。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書の中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各項目調査についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については下記の通り。

雨	曇りのち雨	曇り	晴れのち曇り	晴れ
				
△100.0～△60.1	△60.0～△20.1	△20.0～20.0	20.1～60.0	60.1～100.0

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(令和7年10月～令和8年3月期実績、令和8年4月～令和8年9月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

産業全体はすべての指標が大幅に悪化

今期の産業全体における景況は、売上額DIが－21.1、採算DIが－35.2、資金繰りDIが－23.9となり、対前期比でそれぞれ－14.1ポイント、－18.3ポイント、－22.5ポイント悪化した。

産業全体では、4期前から悪化の傾向にあったが、今期は大幅に悪化した。

次期の産業全体は、売上額DI、資金繰りDIは改善、採算DIは横ばいの見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	－21.1% (対前年比 －15.6悪化)	次期予想	－18.3% (対前年比 －11.3悪化)
・採算DI	－35.2% (対前年比 －20.1悪化)	次期予想	－35.2% (対前年比 －18.3悪化)
・資金繰りDI	－23.9% (対前年比 －11.6悪化)	次期予想	－22.5% (対前年比 －21.1悪化)

産業全体景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年10月～6年3月		1.4%		－8.2%		－2.7%
6年4月～6年9月		－4.1%		－20.5%		－9.6%
6年10月～7年3月		－5.5%		－15.1%		－12.3%
7年4月～7年9月		－7.0%		－16.9%		－1.4%
7年10月～8年3月 (今期)		－21.1%		－35.2%		－23.9%
8年4月～8年9月 (見通し)		－18.3%		－35.2%		－22.5%

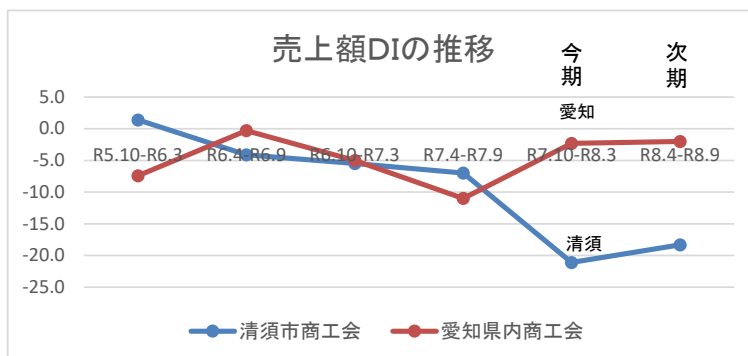
※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会（愛知県）と清須市商工会（清須市）との比較

①売上額DI

今期は愛知県が改善している中で、清須市は大幅に悪化している。

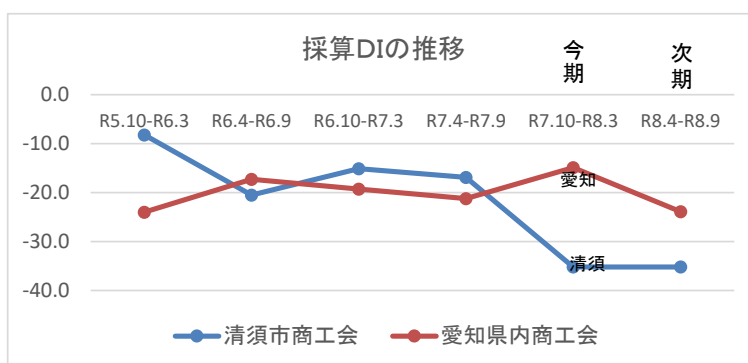
次期は清須市、愛知県共に改善する見通し。指標値は愛知県が大きく上回る見通し。



②採算DI

今期は愛知県が改善をしている中、清須市は大幅に悪化している。

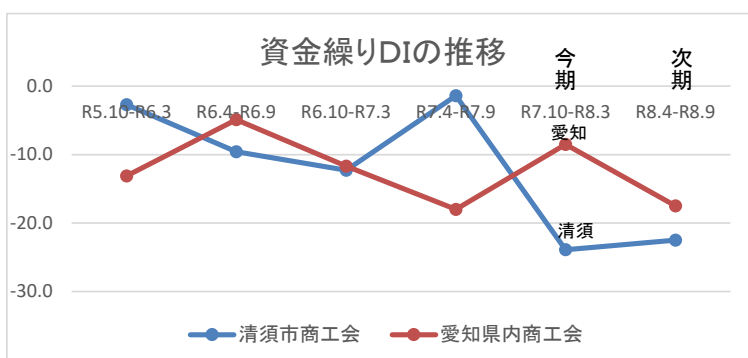
次期は清須市は横ばい、愛知県は悪化する見通し。指標値は愛知県が上回る見通し。



③資金繰りDI

今期は愛知県が改善している中、清須市は大幅に悪化している。

次期は清須市が改善、愛知県は悪化する見通し。指標値は愛知県が上回る見通し。



【全産業平均】

売上額DIの推移

時期	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3	R7.4-R7.9	今期 R7.10-R8.3	次期 R8.4-R8.9
清須市商工会	1.4	-4.1	-5.5	-7.0	-21.1	-18.3
愛知県内商工会	-7.4	-0.3	-5.0	-11.0	-2.3	-2.0

採算DIの推移

時期	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3	R7.4-R7.9	R7.10-R8.3	R8.4-R8.9
清須市商工会	-8.2	-20.5	-15.1	-16.9	-35.2	-35.2
愛知県内商工会	-24.0	-17.3	-19.3	-21.2	-14.9	-23.9

資金繰りDIの推移

時期	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3	R7.4-R7.9	R7.10-R8.3	R8.4-R8.9
清須市商工会	-2.7	-9.6	-12.3	-1.4	-23.9	-22.5
愛知県内商工会	-13.1	-4.9	-11.7	-18.0	-8.5	-17.5

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）から引用

3 業種別景況

(1)製造業

製造業はすべての指標が大幅に悪化

製造業では、売上額DIが－40.0、採算DIが－40.0、資金繰りDIが－50.0となり、対前期比でそれぞれ－40.0ポイント、－60.0ポイント、－80.0ポイント悪化した。

今期は、すべての指標が大幅に悪化した。

次期は一転、すべての指標が改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	－40.0%（対前年比－40.0悪化）	次期予想	10.0%（対前年比 10.0改善）
・採算DI	－40.0%（対前年比－21.8悪化）	次期予想	－30.0%（対前年比－50.0悪化）
・資金繰りDI	－50.0%（対前年比－59.1悪化）	次期予想	－10.0%（対前年比－40.0悪化）

製造業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年10月～6年3月		0.0%		－11.1%		－11.1%
6年4月～6年9月		－20.0%		－40.0%		－40.0%
6年10月～7年3月		0.0%		－18.2%		9.1%
7年4月～7年9月		0.0%		20.0%		30.0%
7年10月～8年3月 （今期）		－40.0%		－40.0%		－50.0%
8年4月～8年9月 （見通し）		10.0%		－30.0%		－10.0%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2)建設業

建設業はすべての指標が悪化

建設業では、売上額DIが－50.0、採算DIが－43.8、資金繰りDIが－31.3となり、それぞれ対前期比で－20.6ポイント、－2.6ポイント、資金繰りDIが－7.8ポイント悪化した。

特に、前期から売上額DIが大幅に悪化している。

次期は、売上高DIが改善、採算DI、資金繰りDIは更に悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	－50.0%（対前年比－38.2悪化）	次期予想	－43.8%（対前年比－14.4悪化）
・採算DI	－43.8%（対前年比－37.9悪化）	次期予想	－50.0%（対前年比－8.8悪化）
・資金繰りDI	－31.3%（対前年比－7.8悪化）	次期予想	－37.5%（対前年比－14.0悪化）

建設業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年10月～6年3月		11.8%		－5.9%		0.0%
6年4月～6年9月		－5.6%		－16.7%		－5.6%
6年10月～7年3月		－11.8%		－5.9%		－23.5%
7年4月～7年9月		－29.4%		－41.2%		－23.5%
7年10月～8年3月 （今期）		－50.0%		－43.8%		－31.3%
8年4月～8年9月 （見通し）		－43.8%		－50.0%		－37.5%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3)小売業

小売業はすべての指標が悪化

小売業では、売上額DIが0.0、採算DIが-28.6、資金繰りDIが-21.4となり、対前期比でそれぞれ-7.1ポイント、-21.5ポイント、-28.5ポイント悪化した。

特に、採算額DI、資金繰りDIは大幅に悪化した。

次期は、更にすべての指標が悪化する見通しで、中でも売上高DIが大幅に悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	0.0% (対前年比 21.4改善)	次期予想	-28.6% (対前年比 -35.7悪化)
・採算DI	-28.6% (対前年比 14.3改善)	次期予想	-35.7% (対前年比 -28.6悪化)
・資金繰りDI	-21.4% (対前年比 21.5改善)	次期予想	-28.6% (対前年比 -35.7悪化)

小売業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年10月～6年3月		-20.0%		-6.7%		6.7%
6年4月～6年9月		-28.6%		-21.4%		-42.9%
6年10月～7年3月		-21.4%		-42.9%		-42.9%
7年4月～7年9月		7.1%		-7.1%		7.1%
7年10月～8年3月 (今期)		0.0%		-28.6%		-21.4%
8年4月～8年9月 (見通し)		-28.6%		-35.7%		-28.6%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業は売上額DI、採算DIが悪化、資金繰りDIが改善

飲食業では、売上額DIが－20.0、採算DIが－53.3となり、対前期比でそれぞれ－27.1ポイント、－3.3ポイント悪化した。資金繰りDIが－20.0となり、対前期比で＋8.6ポイント改善した。

特に、売上額DIが前期のプラス値から一転悪化した。

次期は、売上額DI、採算DIが横ばい、資金繰りDIは悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	－20.0%（対前年比 0.0横ばい）	次期予想	－20.0%（対前年比 -27.1悪化）
・採算DI	－53.3%（対前年比 -13.3悪化）	次期予想	－53.3%（対前年比 -3.3悪化）
・資金繰りDI	－20.0%（対前年比 6.7改善）	次期予想	－26.7%（対前年比 1.9改善）

飲食業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年10月～6年3月		6.3%		-25.0%		-12.5%
6年4月～6年9月		0.0%		-40.0%		6.7%
6年10月～7年3月		-20.0%		-40.0%		-26.7%
7年4月～7年9月		7.1%		-50.0%		-28.6%
7年10月～8年3月 （今期）		-20.0%		-53.3%		-20.0%
8年4月～8年9月 （見通し）		-20.0%		-53.3%		-26.7%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業は売上高DIが改善、採算DI、資金繰りDIが悪化

サービス業では、売上高DIが0.0となり、対前期比で+12.5ポイント改善した。採算DIが-12.5、資金繰りDIが-6.3となり、対前期比でそれぞれ-18.8ポイント、-25.1ポイント悪化した。

全業種の中で比較的良好に推移してきたが、今期は採算DI、資金繰りDIがマイナス値となった。

次期は、売上高DI、資金繰りDIが横ばい、採算DIが改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上高DI	0.0% (対前年比 -25.0悪化)	次期予想	0.0% (対前年比 12.5改善)
・採算DI	-12.5% (対前年比 -37.5悪化)	次期予想	-6.3% (対前年比 -12.6悪化)
・資金繰りDI	-6.3% (対前年比 -31.3悪化)	次期予想	-6.3% (対前年比 -25.1悪化)

サービス業景況天気図

総評



時期	売上高DI		採算DI		資金繰りDI	
5年10月～6年3月		6.3%		6.3%		0.0%
6年4月～6年9月		25.0%		6.3%		18.8%
6年10月～7年3月		25.0%		25.0%		25.0%
7年4月～7年9月		-12.5%		6.3%		18.8%
7年10月～8年3月 (今期)		0.0%		-12.5%		-6.3%
8年4月～8年9月 (見通し)		0.0%		-6.3%		-6.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

今回も全業種で、原材料・材料等仕入単価の上昇、その他の経費の増加が上位を占めており、物価高騰の影響が続いている。建設業では材料の入手難が上がっている。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	25.9%
	2位	生産設備の不足・老朽化	14.8%
	3位	製品(加工)単価の低下・上昇難、製品ニーズの変化への対応	11.1%
建設業	1位	材料価格の上昇	31.3%
	2位	材料の入手難	15.6%
	3位	材料費・人件費以外の経費の増加、民間需要の停滞	9.4%
小売業	1位	仕入単価の上昇	31.3%
	2位	需要の停滞	12.5%
	3位	人件費以外の経費の増加、販売単価の低下・上昇難	9.4%
飲食業	1位	材料等仕入単価の上昇	28.6%
	2位	人件費以外の経費の増加	21.4%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	14.3%
サービス業	1位	人件費以外の経費の増加	18.8%
	1位	材料等仕入単価の上昇	18.8%
	3位	利用者ニーズの変化への対応、需要の停滞	12.5%

5 取り組むべき経営課題

問題の解決に向けた経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。全産業平均においては、常に上位になる販路開拓が課題のトップである。次に、物価高騰等の影響により全産業でコスト削減、現場改善が上位に挙がっている。その他、建設業、サービス業では人材募集が課題として上がっている。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	設備投資	31.3%
	2位	現場改善	25.0%
	3位	販路開拓	18.8%
建設業	1位	販路開拓	29.2%
	2位	コスト削減	25.0%
	3位	人材募集、現場改善	12.5%
小売業	1位	販路開拓	33.3%
	2位	コスト削減	27.8%
	3位	特になし	16.7%
飲食業	1位	販路開拓	26.3%
	2位	コスト削減	21.1%
	3位	設備投資、現場改善	15.8%
サービス業	1位	販路開拓	31.3%
	2位	人材募集	25.0%
	3位	コスト削減	12.5%
全産業平均	1位	販路開拓	28.0%
	2位	コスト削減	20.4%
	3位	現場改善	14.0%